

平成 25 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 26 年 6 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育理念・目標	①教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	4
	②教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	3	3
	③教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4	4
	④教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	2	3
2 教育活動	①カリキュラムは教育目標が反映されているか	4	4
	②定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	4
	③テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	4
	④シラバスが作成され学生に配布されているか	2	3
	⑤授業の点検・評価が適切に実施されているか	4	4
	⑥資格試験の合格率は	4	4
	⑦資格試験不合格者の対策は	4	4
	⑧評価は適切な方法で行われているか	4	4
	⑨目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4	4
	⑩進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	4
3 学生受入れ	①学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4	4
	②入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4	4
	③募集要項の内容は適切か	4	4
	④学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	4
	⑤入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	4
	⑥志願者状況、定員充足率はどうか	1	3
	⑦中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4	4
4 教職員組織	①専任教員は設置基準を満たしているか	4	4
	②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	3
	③教職員の業務分掌は明確になっているか	4	4
	④教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4	4
	⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか	2	3
	⑥教職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	3

	評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
5 施設・設備等	①講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	4
	②実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4	4
	③実習設備は整備されているか	3	3
	④講義室・実習室の管理は適切に行われているか	3	4
	⑤学生が自学自習できる教室を有しているか	4	4
	⑥図書室は適切に整備されているか	2	3
	⑦保健室は適切に整備されているか	3	3
	⑧教育用機器備品は整備されており活用されているか	2	3
	⑨職員室の管理は適切に行われているか	4	4
	⑩事務室の管理は適切に行われているか	4	4
6 学生生活支援	①奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	4
	②学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	4	4
	③各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4	4
	④防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	3
	⑤進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	4
	⑥新たな求人開拓の努力はしているか	3	3
7 管理・運営	①理事会、評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	4	4
	②理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	4	4
	③就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4	4
	④就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	4	4
	⑤組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	2	3
	⑥消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4	4
	⑦個人情報保護法を遵守しているか	4	4
	⑧セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	4	4
	⑨財務分析比率は適切な数字になっているか	3	3
	⑩学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4	4

2. 点検項目の分析

1. 教育理念・目標

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育 理念 ・ 目標	①教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4	4
	②教育目標は卒業時の到達が読みとれるものになっているか	3	3
	③教育理念並びに教育目標は定期的に見直されているか	4	4
	④教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか	2	3

《自己点検・自己評価》

④教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか

【現状の問題点】

教育理念及び教育目標は「学生必携」にて明記され、入学説明会・オリエンテーション等で説明しているが、目標の具体的な成果として卒業時の到達技能や習得知識として「学生に浸透」まで至っていない。

【改善のための方策】

この教育目標を卒業制作の到達技能や習得知識として置き換え、4月のオリエンテーションにて卒業制作合格基準として明示する。自己点検・評価を全教職員及び学科毎で取り組むことで教職員・担任を通じて学生に浸透させていく。

【結果検証】

卒業制作合格基準として明示し、卒業制作審査会後にアンケート調査により結果を検証する。

《学校関係者評価委員会での意見》

② 教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。

- ・到達の度合いが、学生自身で自己評価できれば更に適切かと感じました。

④教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか

- ・就職後も「学生必携」を定期的に読み返すと良いと思います。
- ・何かにつけて教育目標には、触れていってほしいと思います。
- ・浸透できるような工夫や仕組み作りに期待します。
- ・教育目標を通じて、何の為の勉強なのか、を学生が理解できるようにしてほしいと思います。

2. 教育活動

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
2 教育活動	①カリキュラムは教育目標が反映されているか	4	4
	②定期的なカリキュラムの見直しがなされているか	4	4
	③テキストや教材は適切なものを選定しているか	4	4
	④シラバスが作成され学生に配布されているか	2	3
	⑤授業の点検・評価が適切に実施されているか	4	4
	⑥資格試験の合格率は	4	4
	⑦資格試験不合格者の対策は	4	4
	⑧評価は適切な方法で行われているか	4	4
	⑨目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4	4
	⑩進級、卒業の判定審査は適切に実施されているか	4	4

《自己点検・自己評価》

④シラバスが作成され学生に配布されているか

【現状の問題点】

シラバスは、年度初めに全教科の一覧表としてまとめられて、学生配布されているが、シラバス通りの授業が行われているかの検証する仕組みが組織的に構築されていない。

【改善のための方策】

授業後に提出される「授業報告書」で、担当がシラバスでの計画と授業進捗をチェックし、月末の情報整理日にまとめて教務部長に報告・検証、必要な修正を行う。

【結果検証】

年2回実施する講師会にて「授業アンケート」結果をもって結果を検証する。

⑥資格試験の合格率は

【現状の問題点】

授業で対応している必須資格は、全国平均を上回る合格率を達成しているものの、希望制により新規・上位資格への挑戦に関しての合格率は高くない。

【改善のための方策】

デザイン系の資格取得に対する支援体制を強化していく。新規・上位資格への挑戦目標を設定し、早朝自習室制度や放課後復習時間の確保や直前の対策特別授業等の施策により取得を支援していく。

【結果検証】

年2回実施する講師会にて「検定実績報告」の結果をもって検証する。

《学校関係者評価委員会での意見》

①カリキュラムは教育目標が反映されているか

- ・教育目標は抽象性が高い為、カリキュラムとの関連性を読み取ることが難しいと感じました。
- ・カリキュラムは、一覧ではなく別の可視化の手法も検討の余地があるかと感じました。

④シラバスが作成され学生に配布されているか

- ・シラバスにおいて各授業の到達度が自己評価できるようなルーブリック評価（米国で開発された評価方法であり、評価基準である『尺度』と、尺度を満たした場合の『特徴の記述』で構成される）の導入も適切かと感じました。
- ・年間を通して複数回の定期的なチェックがあるといいと思います。

⑥資格試験の合格率は

- ・素晴らしい実績です。指導する教員の努力を感じます。
- ・レタリング検定の受験を推奨したい。デジタルの時代だからこそ、手描きの技能が重要になってきているのでは。

⑧評価は適切な方法で行われているか

- ・ルーブリック評価であらかじめ具体的な達成度合いを明示することも有効かと思います。

3. 学生受入れ

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
3 学生 受入 れ	①学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か	4	4
	②入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4	4
	③募集要項の内容は適切か	4	4
	④学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か	4	4
	⑤入学者選抜の時期、方針、方法は適切か	4	4
	⑥志願者状況、定員充足率はどうか	1	3
	⑦中途退学の理由・実状を適切に把握しているか	4	4

《自己点検・自己評価》

①学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か

【現状の問題点】

学生募集のイベント時期に関して、高校生の進路研究時期の早期化に対応し、2年夏季休暇より実施しているが、その後のイベント時期との間隔が長い間、アピール継続性が弱い面があった。

【改善のための方策】

高校生の進路研究時期の早期化に対応し、高校2年次の夏季休暇より、原則毎月1回受入可能な募集イベント枠を設けることを検討する。

【結果検証】

平成26年度の定員充足率によって検証する。

⑥志願者状況、定員充足率はどうか

【現状の問題点】

志願者数が前年より減少しており、さらに学科によって定員充足率は差があるため、さらなる各学科の教育内容、教育システムの精査が求められる。

【改善のための方策】

産業界から求められるスキルを再度精査するとともに、入学希望者の嗜好にもあった教育内容の構築と広報、さらに講師陣の再編と強化を実施する。

【結果検証】

平成26年度の定員充足率によって検証する。

《学校関係者評価委員会での意見》

⑥志願者状況、定員充足率はどうか

- ・イラスト広告系学科では教育方針・内容と、高校の美術教育及び高校生の認識や要望との間にわずかですが違いがあるように感じます。
- ・3年制学科の導入は、非常に良いかと思います。ブライダル・トータルビューティー科の施策に期待します。
- ・ピンポイントで資格を取る道筋などをわかりやすく伝えると良いと思います。
- ・学科ごとの特徴をもっと際立たせる必要があるかと思います。

4. 教職員組織

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
4 教職員組織	①専任教員は設置基準を満たしているか	4	4
	②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か	3	3
	③教職員の業務分掌は明確になっているか	4	4
	④教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4	4
	⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか	2	3
	⑥教職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか	3	3

《自己点検・自己評価》

②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か

【現状の問題点】

年度中途において専任教員の退職により、専任教員補充まで一時的に想定以上の担当科目を受け持つ事態となった。

【改善のための方策】

専任教員の補充により、年度後半には適正な時間数に復元するに至ったが、今後は不測の退職等による専任教員の減員にも柔軟に対応できる専任教員数を確保していく。

【結果検証】

退職による減員にも対処できる専任教員数を雇用し、柔軟に教務組織運営が可能な体制となっているか、で検証する。

⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか

【現状の問題点】

毎年定期的に新入社員研修、管理職研修、必要に応じた資格検定研修などを実施しているが、組織的・計画的に整えられていない。

【改善のための方策】

人材教育はもちろん、社内の昇格等に向けての教育体制の新規構築を図る。それにより、担任・役職者など真に必要な資質・技能が何かを明確にしていく。

《学校関係者評価委員会での意見》

②専任教員1人あたりの担当科目時間数は適切か

- ・授業時間外の業務(企業とのプロジェクト)のカウント方法も明示する必要があるのでは、と感じました。

③教職員の業務分掌は明確になっているか

- ・業務分掌が一覧表で非常に明確に明記されていると思います。
- ・教育及び学生指導(就職)以外の行事に関して、教員の方が分掌していると思いますが、教務事務的な部門あるいは専任職員が有効なのは、と感じました。

⑤教職員の資質向上のための施策は適切に構築されているか

- ・新たな見直しを評価します。
- ・正確な判断は難しいですが、地域や業界に向けた教育内容の研究とは別に、業界や学会の動向を学ぶような資質向上も大切かと思いました。

5. 施設・設備等

	評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
5 施設・ 設備等	①講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか	4	4
	②実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか	4	4
	③実習設備は整備されているか	3	3
	④講義室・実習室の管理は適切に行われているか	3	4
	⑤学生が自学自習できる教室を有しているか	4	4
	⑥図書室は適切に整備されているか	2	3
	⑦保健室は適切に整備されているか	3	3
	⑧教育用機器備品は整備されており活用されているか	2	3
	⑨職員室の管理は適切に行われているか	4	4
	⑩事務室の管理は適切に行われているか	4	4

《自己点検・自己評価》

⑥図書室は適切に整備されているか

【現状の問題点】

図書室の利用に関しての学生評価は、雰囲気良く使いやすいが、図書が古い、種類が偏っている、との結果であった。授業に必要な書籍はその都度、購入し使用後図書室にて閲覧可能にしてきたが、学生の印象として最新書籍の不在イメージが抜け切れていない。

【改善のための方策】

古い図書の廃棄。専門図書の管理方法の変更。専門ごとに実習室内に図書コーナーを新設する。

【結果検証】

1か月毎に書籍拡充状況をチェックし検証する。さらに、年度末の満足度調査にて学生の印象の改善を検証する。

⑧教育用機器備品は整備されており活用されているか

【現状の問題点】

エステ用美容機器等を中心に必要な教育用専門機器は整備されているが、定期的なメンテナンスの仕組みは無い。データ移動用接続コード等の貸し出しの仕組みが徹底されていない。

【改善のための方策】

エステ用機器等を中心にメーカーによるメンテナンスを実施した。その結果を踏まえ、定期的なメンテナンス検査のマニュアル作成を実施する。担任による学生への意識改革と共に、貸出チェック表を徹底する。

【結果検証】

授業アンケートにて改善結果の調査を行う。

《学校関係者評価委員会での意見》

③実習設備は整備されているか

- ・現状での過不足は判りませんが、イラスト広告関連について、専門的な設備が魅力的とは言えないと感じます。
- ・古く使えない実習設備は、必要性を精査し、新規導入含めて検討してほしいと思います。

・実習室ではないと思いますが、HR 教室にお弁当が置いてあり、教室で昼食を取るのか気になりましたので、ご確認ください。

⑧教育用機器備品は整備されており活用されているか

- ・自己評価の通りだと思います。
- ・機器のメンテナンスは重要と思いますので、継続をお願いします。特に、エステ系の機器は、人間の肌に直接触るものであるため、特に重視してください。

6. 学生生活支援

	評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
6 学生 生活 支援	①奨学金等、経済的支援は整備されているか	4	4
	②学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	4	4
	③各学校行事について、適切な事後反省を行っているか	4	4
	④防犯・防災訓練の実施等、不法侵入・災害に対する整備は万全か	3	3
	⑤進路活動に関する支援が整備され、機能しているか	4	4
	⑥新たな求人開拓の努力はしているか	3	3

《自己点検・自己評価》

②学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか

【現状の問題点】

学生アンケートにより、担任や就職課による学生相談は満足しているとの結果であるが、外部の「無料学生相談室」の使用に関しては、利用頻度・認知度共に低い結果となった。理由は、入試の厳格化により問題学生の入学が減少し、利用率は減少傾向にあることである。

【改善のための方策】

本校のスクールカウンセリングは、「自立でき、納得できる就職」内定を得る目的に対して、迷いや不安の解消をアドバイスする人材を、学外にも秘守を前提に整備している。さらに、入試の厳格化により、職業従事が困難と思われる者の入学を厳密に入学前に確認することにより、カウンセリングを必要とする学生の根本的な低減を図っている。

【結果検証】

年度末の学生満足度調査にて検証。

⑥新たな求人開拓の努力はしているか

【現状の問題点】

デザイン業界の再編に伴い、情報収集し新規企業をその都度開拓している。2013年度就職率100%を達成。

【改善のための方策】

学科別に各主任以上の役職者が100社企業訪問。その中で、新規企業を優先し、求人へと繋がる活動を実施。就職見込企業リストの更新及び、年度末の新規開拓企業への就職内定数にて検証する。

【結果検証】

学校求人案内の発送先企業リストの更新及び、年度末の新規開拓企業（特に県外）への就職内定数にて検証する。

《学校関係者評価委員会での意見》

③各学校行事について、適切な事後反省を行っているか

- ・学生アンケートでも満足度が高いと感じました。
- ・学生の意見を尊重するも、あくまで学校主導でお願いしたい。

⑥新たな求人開拓の努力はしているか

- ・一般企業へ広報部、総務部等の要員としてスキルをアピールすると良いのでは、と感じました。

⑤進路活動に関する支援が整備され、機能しているか

- ・漫画、イラストといった就職とはかけ離れた分野において、非常に努力されていると感じます。
- ・ジャンルによって訪問できる企業に、ばらつきがあることは理解できます。
- ・新規開拓の努力を感じます。継続を希望します。

7. 管理・運営

	評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
7 管理・ 運営	①理事会、評議員会は適時適切に開催され、機能しているか	4	4
	②理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか	4	4
	③就業規則などの諸規程は適切に整備されているか	4	4
	④就業規則などの諸規程・学則等が定期的に見直されているか	2	3
	⑤組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	2	4
	⑥消防計画、学校安全計画等は適切に整備されているか	4	4
	⑦個人情報保護法を遵守しているか	4	4
	⑧セクシャルハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか	3	3
	⑨財務分析比率は適切な数字になっているか	4	4
	⑩学校の財務情報を公開する適切な体制が整備されているか	4	4

《自己点検・自己評価》

⑤組織間、各部署間の連携は適切に図られているか

【現状の問題点】

・学校内での定期的な会議、全学での会議、役職者の会議、全校行事イベント会議などを適宜開催しているが、組織間で意識の差や有機的な連携にまで至っていない。

【改善のための方策】

各組織の責任者の理解力・伝達力・リーダーシップ等の更なる成長が必要と思われ、その育成を計画的に行う。

《学校関係者評価委員会での意見》

①～⑩に関して

・適切に整備・管理されていると判断します。その正しい運営の継続を希望します。

⑤組織間、各部署間の連携は適切に図られているか

・講師陣については大変連携がとれているように感じました。